

川口のお年寄りに聞く（聞き取り調査より）

院内から発掘された金銅仏阿弥陀仏如来像（金 清八氏蔵）

この阿弥陀仏如来像は、川口の院内という地名の田圃から発掘された金銅仏で大きさは約3寸位、年代は約800年前の仏像と思われる。（正確には仏像に詳しい専門家の鑑定が必要である）発掘された阿弥陀仏如来像は、450年頃の朝鮮の甕の中に古銭と一緒に入っていたと伝え聞いている。掘り出されたのはいつごろであるか不明であるが、円徳寺より明治30年ごろに譲り受け今日まで金家に伝わったものと考えられる。

院内の地名は、昔から院内畑と言って稲積家（床屋）の後ろで地面の比較的高い所であり、昔の住居跡ではないかと考えられる。

また、院内という地名は昔から寺との深い関係があると考えられ、川口の覚正寺や法渡寺等とどのような関係があったのか今後調査研究する必要がある。

塚原村に関する資料（故帯刀嘉之助氏所蔵）

この役場の関係文書は高井源四郎さんの蔵にあったものの一部を帯刀嘉之助さんが保存していたものである。

この文書は、塚原の明治時代の歴史を知る上で貴重な資料であり、末永く大切に保存し、今後、調査研究していく必要がある。とくに、租税の項目等から今の時代では考えられない「魚釣りが生活の一部として生計をたてていたことが当時の役場に記帳してある」など、当時の生活実態やどのような家があったのかを伺い知ることができる。

諏訪木神社の祭礼について

川口の元朝祭は、いつのころからかはわからないが浄土真宗の高木山覚正寺と総洞宗の谷昌寺が一緒になってお経読んで新年の祝詞をあげている。

浄土真宗の高木山覚正寺は 経・総洞宗の谷昌寺は経を読み上げている。

神仏混淆の時代の名残りであろうと考えられるが全国的にも非常に珍しい形態をとっている元朝祭ではなかろうか。

また、高木山覚正寺御堂左端に高木八幡宮の御神体が安置されており、近年まで祭りになると高木秋生宅より赤飯を蒸して御神体に御供えし覚正寺住職にお経を唱えてもらっていた経緯があり、ここにも神仏混淆の足跡があった。

諏訪木神社は、明治時代から大正時代に3社（諏訪木神社・高木八幡宮・神明社）が合祀され現在に至っている。川口の祭りは、明治18年頃の記録には春季大祭は4月14日秋季大祭は9月6日に行われていたようであり、明治23年に塚原村ができた時、当時塚原6ヶ村で一番格式の高い川口の祭礼に従って今日の春祭は4月14日になったのであろう。それまでは、かならずしも統一されておらずそれぞれ祭りを行っていたと思われる。また、諏訪木神社は、明治時代が大正時代に3社（諏訪木神社・高木八幡宮・神明社）が合祀されたため塚原村の村社としてあつかわれていると伝え聞いている。

秋季大祭については、この射水野地区は9月6日であったのではないかと推測される。このことは大島町の北野・若杉等の地区が今日でも10月6日に秋祭りを行っており一か月のずれはあるものの6日という共通した秋祭りの何らかの謂れがあるのではないかと考えられる。

今日、秋季大祭は10月14日となっているが、どのような理由から14日になったのかはわからない。たぶん収穫期の時期や道神社等の都合によるものではないかと推測される。

また、春季大祭には高木八幡宮と深いかかわりのある西宮、秋季大祭には道神社が担当し祭礼を行っている。

「庄川河川大改修と河川敷の開墾」及び「移民について」の項目は、今後の調査研究の対象として取り組んで参りたいと考えており、塚原地区の皆様方にご協力をいただき関係資料があれば提供及び情報を聞かせていただきたい。

「塚原の歴史を考える会」報告書作成のスケジュール

平成11年12月17日（木）

報告書作成についての基本的考え方について

1 「各村の古老に聞く」の聞き取り調査の原稿役割分担

沖塚原（山崎） 朴木（青木） 川口（高木）

報告書のはじめに（山崎） おわりに（北村）

2 報告書作成までの会合の日時について

原則として木曜日を開催することとする。

平成12年3月下旬を報告書作成完了とする。

3 報告書の様式について

縦書き A4版 縦 桁 横 行 行間 行あける

フロッピー3.5 インチ

4 発行部数 500部

5 印刷業者の選定 谷口印刷に依頼する。

6 予算について 総額について栢嶋 司氏に確認する。

平成12年1月14日（木）

「各村の古老に聞く」の聞き取り調査の原稿と打ち込んだフロッピーを提出する。

報告書としての文章表現の方法について統一を図る。

1月28日（木）

報告書のはじめに（山崎） おわりに（北村）の原稿提出

第1回原稿校正

2月10日（木）

第2回原稿校正

仮報告書の作成

2月25日（木）

第3回原稿校正

報告書の配布先の確認

3月上旬

原稿完了

印刷発注 業者へ原稿及びフロッピーを渡す。

3月上旬

最終原稿校正

3月下旬

印刷完了

4月1日

発刊